

2025年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「夢と活力ある農家・地域社会の実現の理念」のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、信頼される J A を徹底的に追及した活動による安定的な資産形成と、J A 共済の「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供を通じた豊かな地域づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

阿蘇農業協同組合

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ 組合員・利用者の皆さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用して適切に販売しております。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

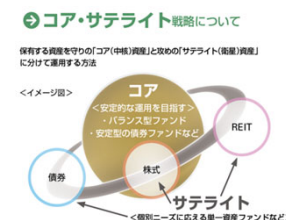
<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

長期投資を前提とし、手数料が良心的な水準であり、過去の運用実績が相対的に良好であることを主な商品選定基準といたしております。
また、コア・サテライト戦略により過度なリスクを抑えつつ安定的なリターンを目指しています。



※ 商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 当組合は、組合員・利用者の皆さまの生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、適切な保障と安心をお届けする事を目的としております。また、ご家族の皆さまにもご安心していただけるご契役を心がけて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- ・ 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- ・ 総合満足度は、2025年3月末時点で93%となっており、高水準を維持しております。
- ・ なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまへの声掛けや実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

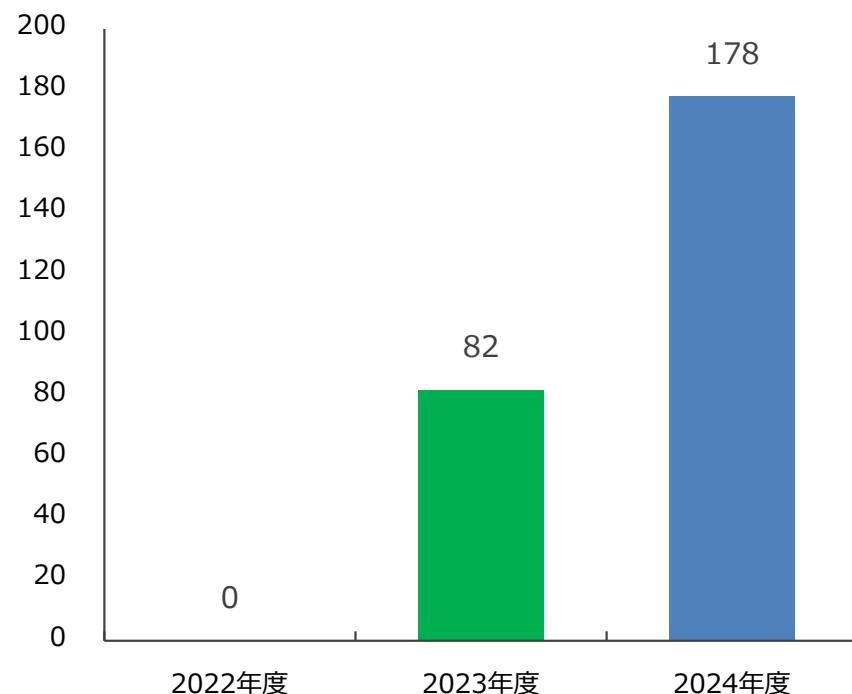
(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

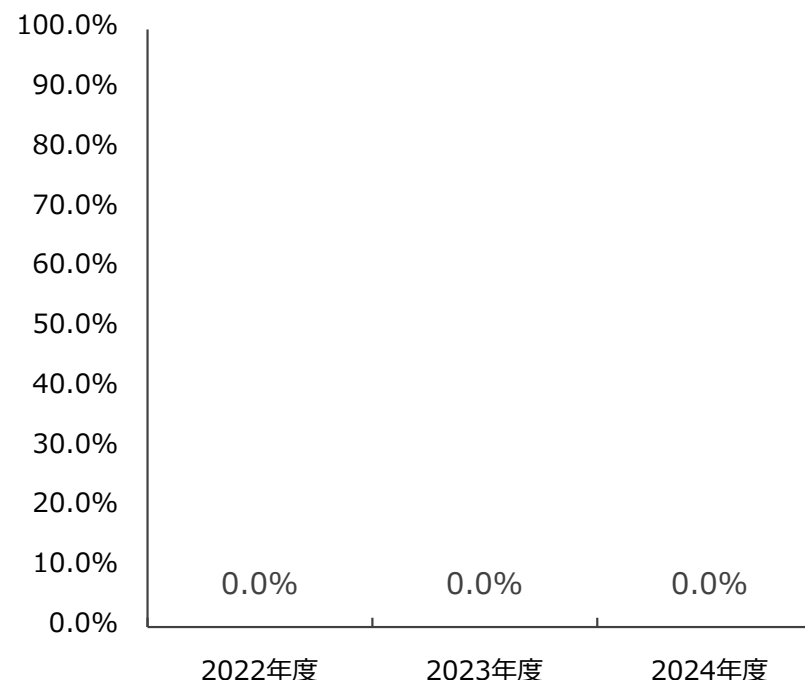
- 組合員・利用者の皆さまのゆとりある将来のために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。
- 「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は0%です。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



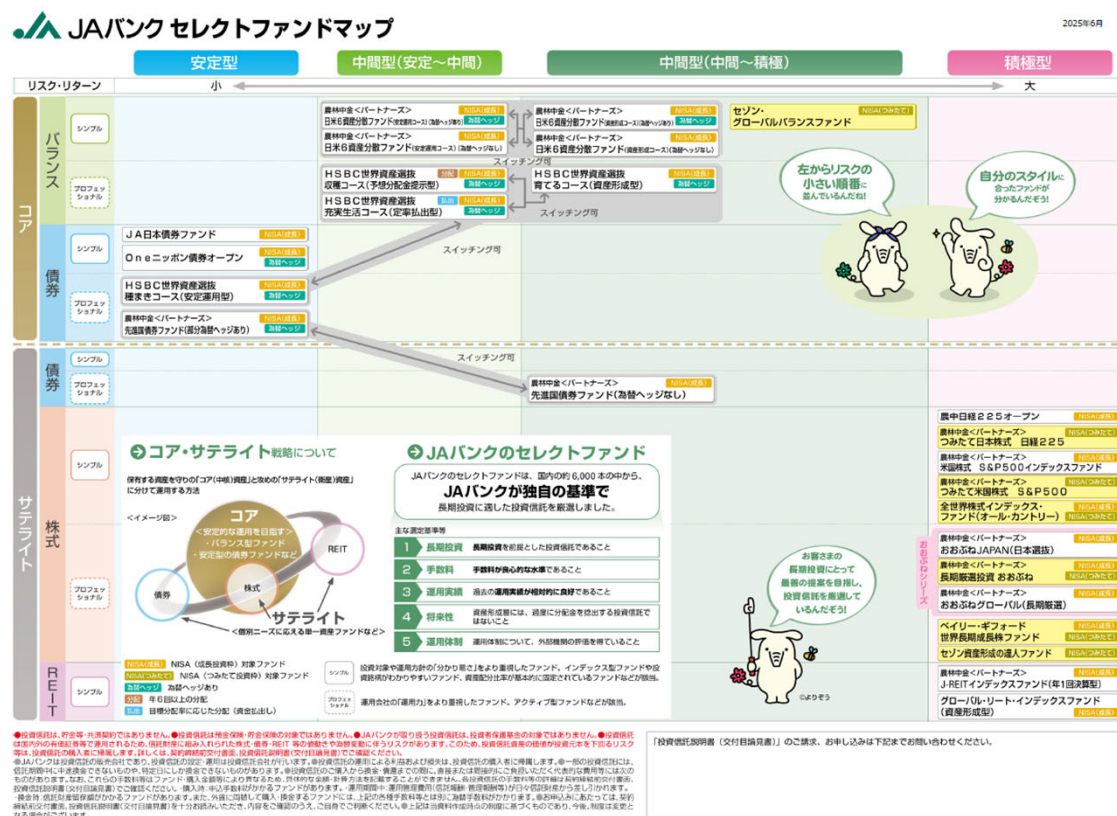
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、「資産運用ガイド」や「資産運用スタイル診断シート」を活用し、すべての皆さまに分かりやすく商品の特性・手数料等の重要な事項について明確かつ誠実にご説明し、必要な情報を十分にご提供するために「JAバンクセレクトファンドマップ」、「NISA（つみたて投資枠）ではじめよう」等を活用のうえ丁寧に分かりやすく情報提供しました。
- なお、当組合は重要情報シートを導入しております。



I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ・ 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、直接お会いして時間をかけてお客さまの立場に立って十分に保障内容をご理解いただけるよう、組合員・利用者の皆さまお一人おひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・ 組合員・利用者の皆さまお一人おひとりのご意向に基づき、ご提案時には「保障設計書」などを使用し提案内容を説明することにより、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ 各種公的保険制度等の情報提供を行い、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた最適な保障・サービスをご提供しております。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則 3 本文および（注）】

- ・ 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないよう、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。
- ・ 営業部門から独立した総務部を利益相反管理統括部署に設定し、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- ・ 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
- ・ 2024年度においても管理態勢が適切か検証し、問題がないことを確認しました。

I.取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材育成と態勢の構築

- ・ 当組合は外務員・FP資格取得を推奨し、eラーニング受講や各研修会への参加・定期的な勉強会により高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

（2025年9月現在 証券外務員資格 有資格者115名 ）

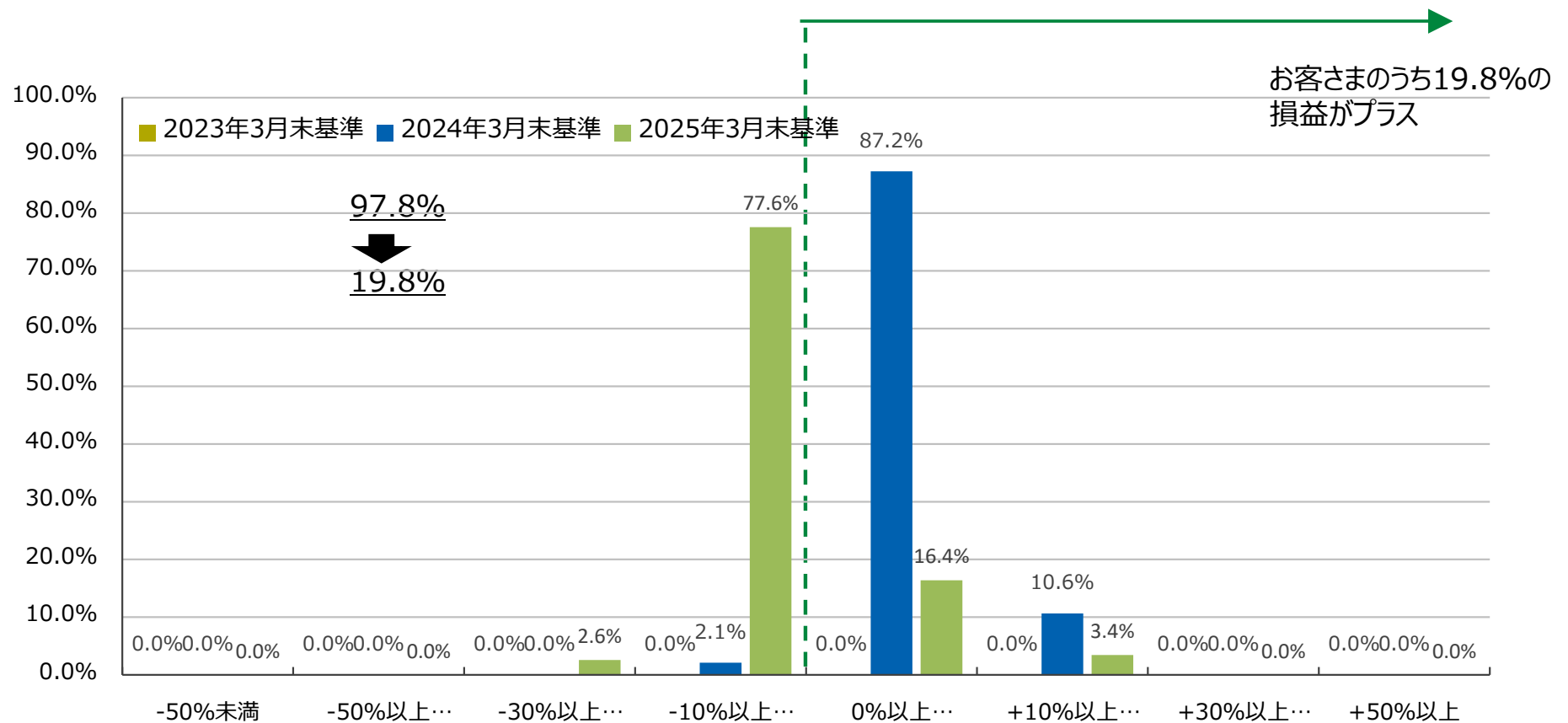
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- ・ 当組合は組合員・利用者の皆さまの声を業務改善に活かすため、いただいた声を各種会議で共有し、改善しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきました。
- 2025年3月末時点では全体の19.8%のお客さまの損益がプラスとなりました。

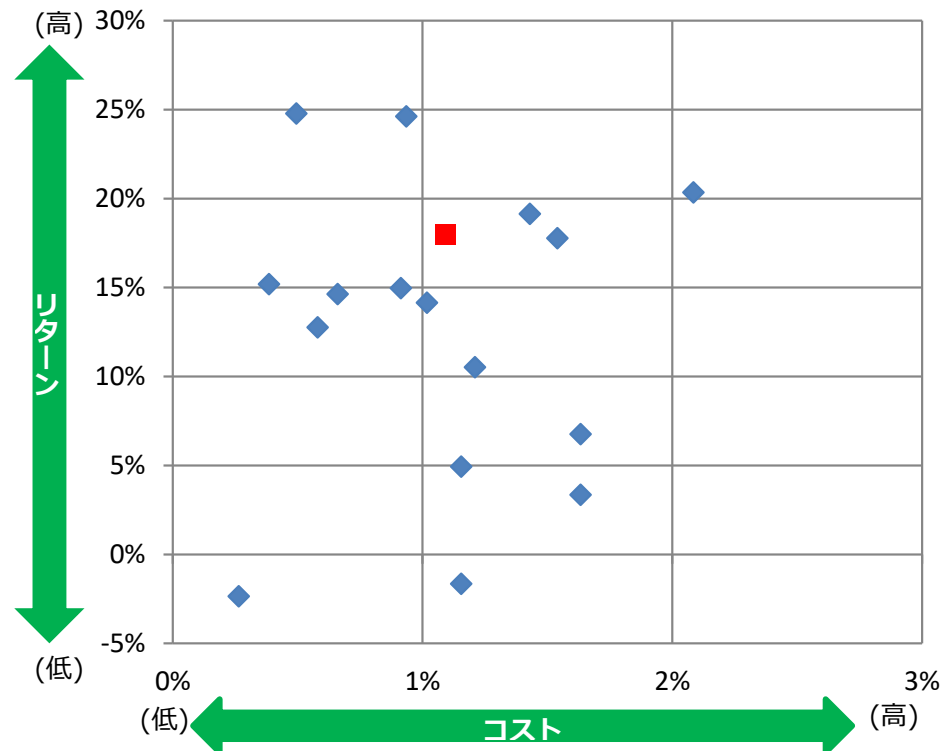


Ⅱ.比較可能な共通K P I

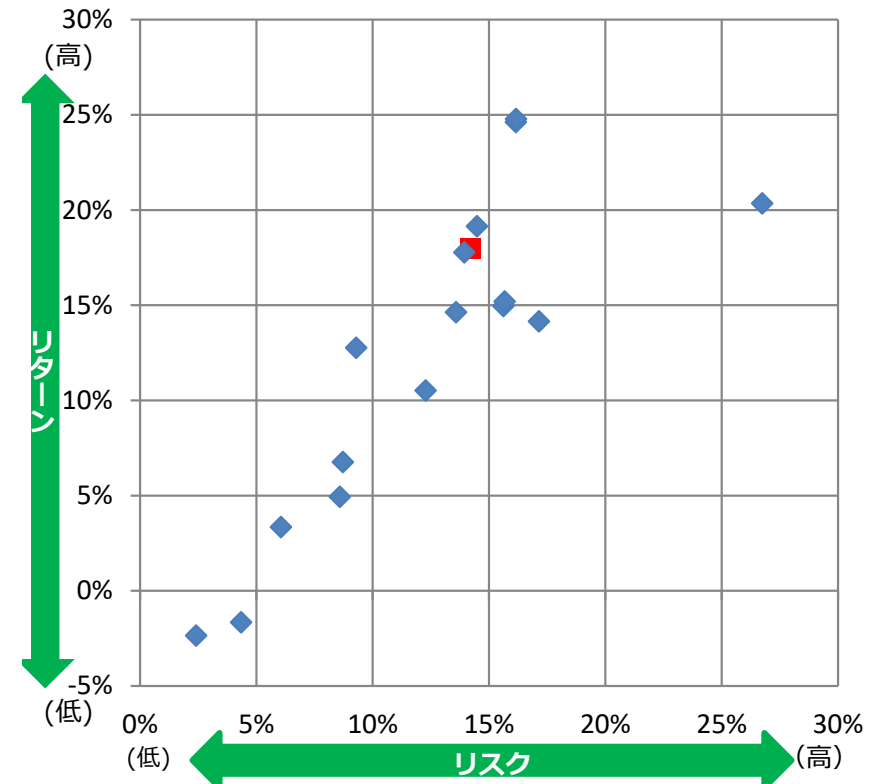
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.09%、平均リスク14.22%に対して、平均リターンは17.96%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



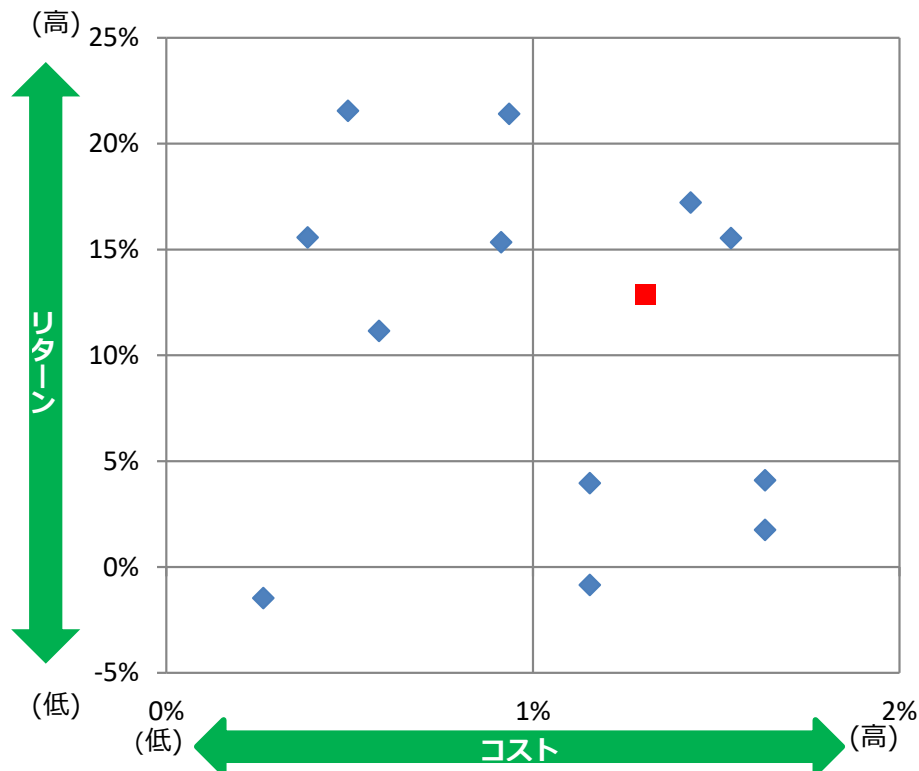
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

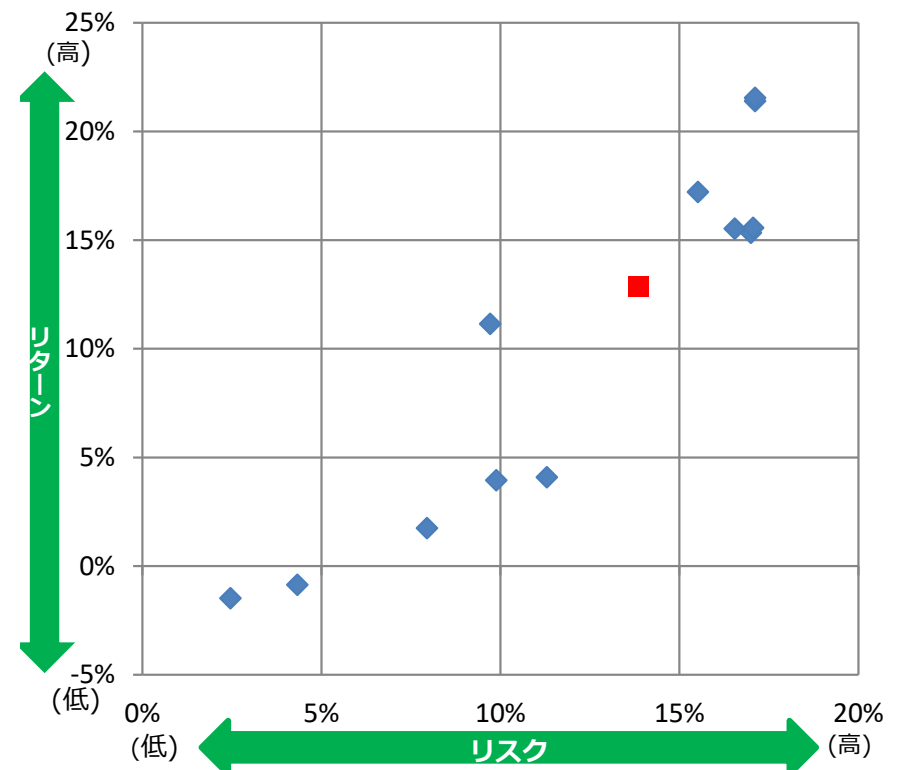
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.31%、平均リスク13.85%に対して、平均リターンは12.85%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、13ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
3	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
4	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
8	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
9	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
10	おおぶね J A P A N （日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
11	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
12	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
14	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
15	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
16	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.96%	14.22%	1.09%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
8	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.47%	2.46%	0.26%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.85%	13.85%	1.31%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。